DENON

スーパーオーディオ CD レシーバー

RCD-CX1

取扱説明書

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに「保証書」・「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」と共に大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。
  出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承願います。詳しくは、☞31 ページ「保証と修理について」をご覧ください。

ご使用になる前に

安全上のご注意

正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずよくお読みください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その絵表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

感電注意

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。

分解禁止

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。

電源プラグをコンセントから抜け

●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜け

万一異常が発生したら、電源プラグをすぐに抜く
- 煙や異臭、異音が出たとき
- 落としたり、破損したりしたとき
- 機器内部に水や金属類、燃えやすいものなどが入ったとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本体と接続している機器の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、安全を確認してから販売店にご連絡ください。
お客様による修理などは危険ですので絶対におやめください。

必ず実施

ご使用は正しい電源電圧で
表示された電源電圧以外で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

必ず実施

電源コードは大切に
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷んだら、すぐに販売店に交換をご依頼ください。

必ず実施

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着しているときは
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

禁止

内部に水などの液体や異物を入れない
機器内部に水などの液体や金属類、燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

水ぬれ禁止

水をかけたり、濡らしたりしない
雨天・降雪中・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。
火災・感電の原因となります。

分解禁止

ねじを外したり、分解や改造したりしない
内部には電圧の高い部分がありますので、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

接触禁止

雷が鳴り出したら
機器や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

乾電池は充電しない
電池の破裂・液漏れにより、火災・けがの原因となります。

水場での使用禁止

風呂・シャワー室では使用しない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

この機器の上に花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品や水などが入った容器、および小さな金属物を置かない
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災・感電の原因となります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、
人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

注意

禁止

付属の電源コードを使用する

他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
また、付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。
電流容量などの違いにより火災・感電の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電源コードは確実に接続し、束ねたまま使用しない

電源コードを接続するときは接続口に確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、火災・感電の原因となることがあります。
根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しないでください。その場合、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。
また、電源コードは束ねたまま使用しないでください。発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止

電源コードを熱器具に近付けない

コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

電源プラグを抜くときは

電源コードを引っ張らずに必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

必ず実施

機器の接続は説明書をよく読んでからおこなう

テレビ・オーディオ機器・ビデオ機器などの機器を接続する場合は、電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従っておこなってください。
また、接続には指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

必ず実施

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。

禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

必ず実施

禁止

電池を交換するときは

- 極性表示に注意し、表示通りに正しく入れる
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない

間違えると電池の破裂・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

禁止

ヘッドホンを使用するときは音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

次のような場所には置かない

火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるようなところ
- 湿気やほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ

必ず実施

壁や他の機器から少し離して設置する

放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面や背面から少し隙間をあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

内部の温度上昇を防ぐため、通風孔が開けてあります。次のような使いかたはしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- あお向けや横倒し、逆さまにする
- 押し入れ・専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い場所に押し込む
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん・布団の上に置いたりして使用する

禁止

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしない

特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

手の挟み込み注意

指のけがに注意

ディスク挿入口に手を入れない

特に幼いお子様にご注意ください。けがの原因となることがあります。
万一手を挟まれた場合は、すぐに本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

禁止

重いものをのせない

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

移動させるときは

まず電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してからおこなってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間の外出・旅行のとき、またはお手入れのときは

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

注意

5年に一度は内部の掃除を

販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前におこなうと、より効果的です。なお、内部の掃除費用については販売店などにご相談ください。

総目次

ご使用になる前に

接続のしかた

設定

再生のしかた

タイマー設定

その他の機能

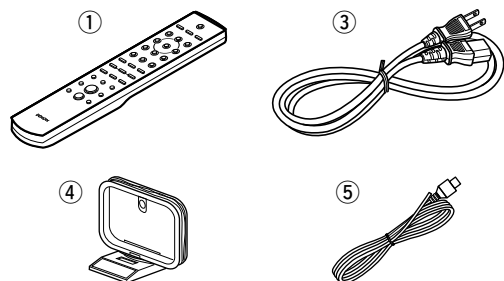
ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

付属品について

本体とは別に下記の付属品が入っています。
お使いになる前にご確認ください。

	数量
① リモコン（RC-1109）	1
② 単 4 形乾電池	2
③ 電源コード（長さ：約 1.5m）【本機専用】	1
④ AM ループアンテナ	1
⑤ FM アンテナ	1
⑥ 取扱説明書（本書）	1
⑦ 製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内	1
⑧ 保証書（梱包箱に貼り付けられています。）	1

①　③　④　⑤

本書に使用しているイラストは、取り扱い方法を説明するためのもので実物と異なる場合があります。

取り扱い上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話を使用すると、雑音（ノイズ）が入る場合があります。携帯電話は本機から離れたところで使用してください。

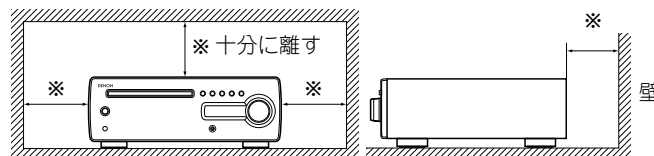
換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

結露現象についてのご注意

本機内部の温度と周囲の温度に大きな差があると、製品内部の動作部に結露（露付き）が起き、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は電源を入れたまま 1 ～ 2 時間放置してから、使用してください。

設置の際のご注意

- 放熱のため、本機の天面、後面および両側面と壁や他の AV 機器などとは十分に離して設置してください。

- 本機の電源を入れたままテレビ放送を見ると、テレビ放送の電波状態によってはしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。本機をテレビから離して設置してください。

お手入れについてのご注意

- キャビネットや操作パネル部分の汚れを拭き取るときは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
  化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質したり変色することがありますので使用しないでください。

移動させるときのご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ディスクについて

本機で使用できるディスク

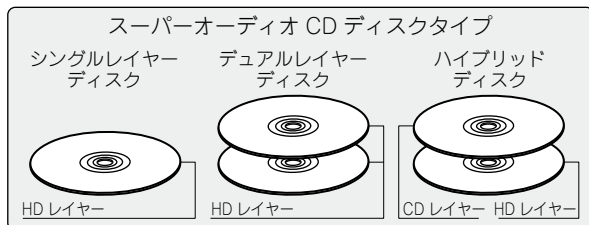
❶ スーパーオーディオCD

本機で使用できるスーパーオーディオCDは、以下のマークが付いているものです。

スーパーオーディオCDには以下の3つの種類があります。

① **シングルレイヤーディスク**
HDレイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオCDです。

② **デュアルレイヤーディスク**
HDレイヤーが二層構造のスーパーオーディオCDです。高音質で長時間の再生ができます。

③ **ハイブリッドディスク**
HDレイヤーとCDレイヤーの二層構造のスーパーオーディオCDです。CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーで再生することができます。

※ HDレイヤーとは？
スーパーオーディオCD用の高密度信号層のことです。

※ CDレイヤーとは？
通常のCDプレーヤーで読み取り可能な層のことです。

本機はマルチチャンネル再生には対応しておりません。

❷ 音楽用 CD

本機で使用できる CD は、右のマークがついているものです。

❸ CD-R/CD-RW

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

※ ファイナライズとは？
録音された CD-R/CD-RW を再生対応機で再生できるように処理することです。

ご注意

ハート型や八角形など特殊形状の CD は再生できません。故障の原因になりますので使用しないでください。

ディスクの持ちかた

ディスク情報面に触らないようにしてください。

ディスクの入れかた

- レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8 cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

図 1

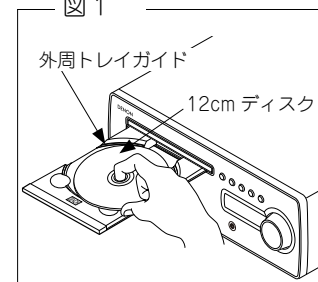
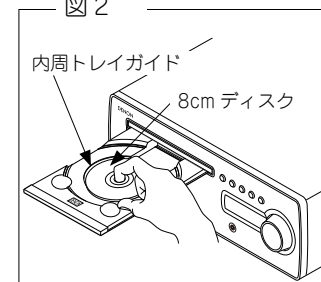



図 2

- 8 cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、“00:00”を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“NO DISC”を表示します。

ディスクを入れる際のご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- セロハンテープやレンタル CD のラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると､ディスクが取り出せなくなったり､故障の原因になることがあります。

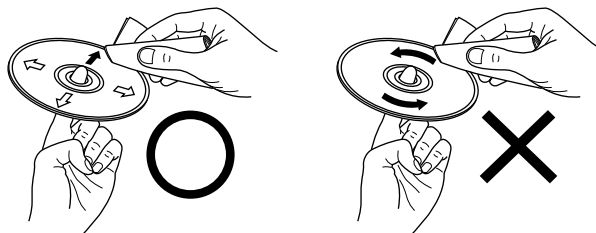
取り扱いについてのご注意

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- 中心の穴を大きくしないでください。
- レーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- 屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクに水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。

保存についてのご注意

- ご使用後は、必ずディスクを取り出してください。
- ほこり・傷・変形などを避けるため、必ずケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
  1. 直射日光が長時間当たるところ
  2. 湿気・ほこりなどが多いところ
  3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってから使用してください。音質が低下したり、音が途切れたりすることがあります。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などを使用してください。

内周から外周方向へ軽く拭く。

円周に沿っては拭かない。

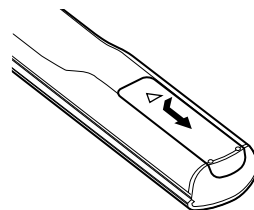
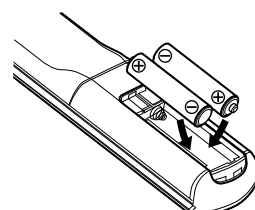
ご注意

レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

リモコンについて

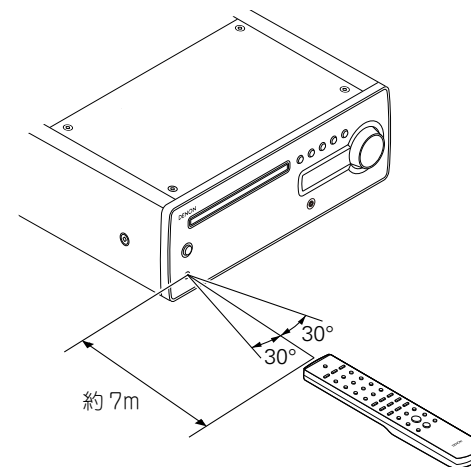
乾電池の入れかた

① 矢印方向に裏ぶたをずらして外す。

② 単 4 形乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

③ 裏ぶたを元通りにする。

ご注意

- リモコンには単 4 形乾電池をお使いください。
- リモコンを本機の近くで操作して本機が動作しないときは、新しい乾電池と交換してください。（付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換して ください。）
- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示通りに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 乾電池をショートさせたり、分解や加熱または火に投入させたりしないでください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を 入れてください。
- リモコンを長期間使用しないときは､乾電池を取り出してください。

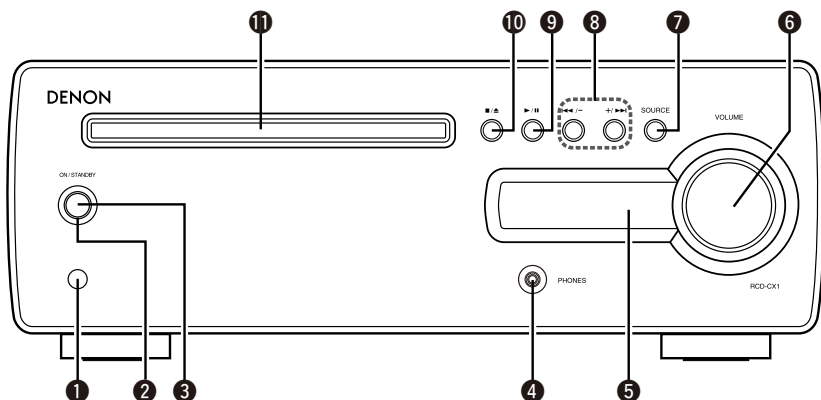
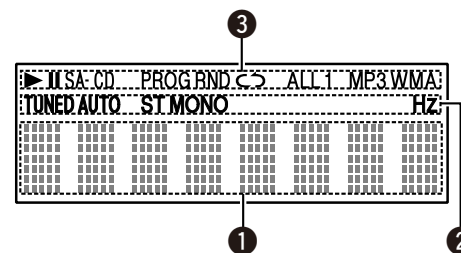
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けてお使いください。

ご注意

リモコン受光部に、直射日光やインバーター式蛍光灯の強い光または赤外線が当たると、誤動作をしたり、リモコンが操作できなくなったりする場合があります。

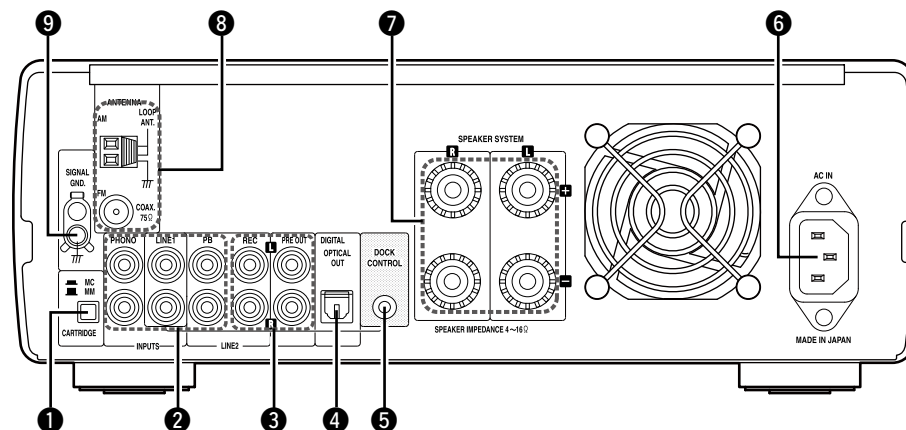
各部の名前とはたらき

各部のはたらきなど詳しい説明については、（ ）内のページを参照してください。

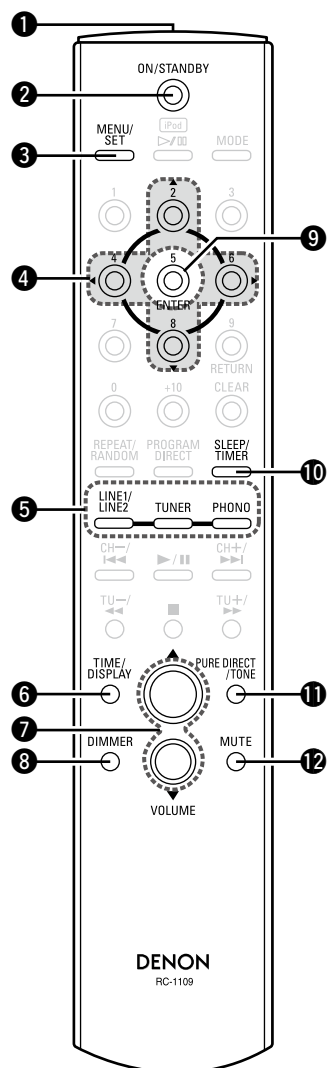
フロントパネル

❶ リモコン受光部 ……（7）
❷ 電源表示 ……（17）
❸ 電源ボタン（ON/STANDBY） ……（16）
❹ ヘッドホン端子（PHONES） ……（18）
❺ ディスプレイ
❻ 音量調節つまみ（VOLUME） ……（17）
❼ ソース切り替えボタン（SOURCE） ……（18）
❽ オートマチックサーチ / −，＋ボタン（|◀◀/−、+/▶▶|） ……（19）
❾ プレイ / ポーズボタン（▶/❚❚） ……（19）
❿ ストップ / ディスクトレイ開閉ボタン（■ /⏏） ……（17）
⓫ ディスクトレイ ……（6）

ディスプレイ

❶ インフォメーションディスプレイ
いろいろな情報を表示します。

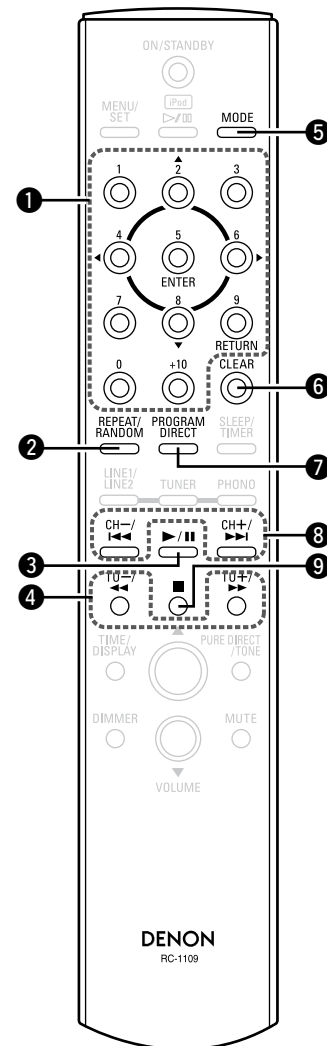
❷ チューナー受信モード表示 ……（23、24）
❸ 各種モード表示 ……（19 ～ 22、25）

リアパネル

❶ カートリッジ切り替えスイッチ（CARTRIDGE） ……（13）
❷ アナログ音声入力端子 ……（13、14）
❸ アナログ音声出力端子 ……（13、14）
❹ デジタル音声出力端子（OPTICAL OUT） ……（14）
❺ ドックコントロール端子（DOCK CONTROL） ……（13）
❻ AC インレット（AC IN） ……（15）
❼ スピーカー端子（SPEAKER SYSTEM） ……（12）
❽ FM/AM アンテナ端子 ……（14）
❾ アース端子（SIGNAL GND） ……（13）

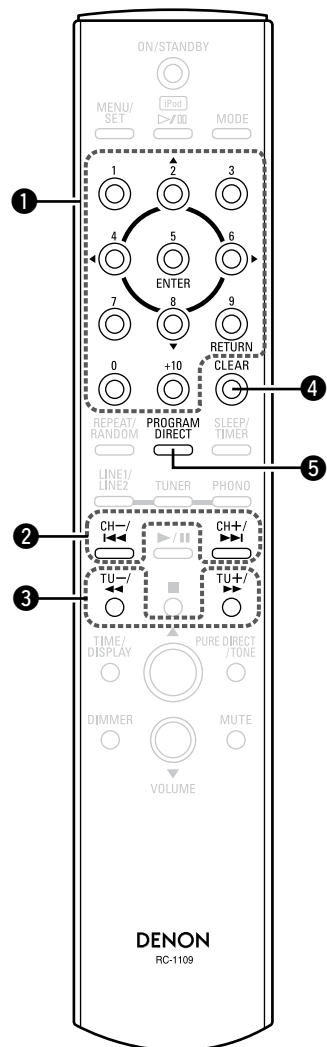
リモコン

すべてのファンクション（CD、PHONO、TUNER、LINE1、LINE2、iPod）のときに操作できるボタン

❶ 送信部 ……（7）
❷ 電源ボタン（ON/STANDBY） ……（16）
❸ メニュー/セットボタン（MENU/SET） ……（16）
❹ カーソルボタン
（2/△、8/▽、4/◁、6/▷） ……（16）
❺ ソース切り替えボタン
（LINE1/LINE2、TUNER、PHONO） ……（18）
❻ タイム/ディスプレイボタン
（TIME/DISPLAY） ……（16）
❼ 音量調節ボタン（VOLUME） ……（17）
❽ ディマーボタン（DIMMER） ……（19）
❾ エンターボタン（5/ENTER） ……（16）
❿ スリープ/タイマーボタン
（SLEEP/TIMER） ……（28）
⓫ ピュアダイレクト/トーンコントロールボタン
（PURE DIRECT/TONE） ……（18）
⓬ ミュートボタン（MUTE） ……（19）

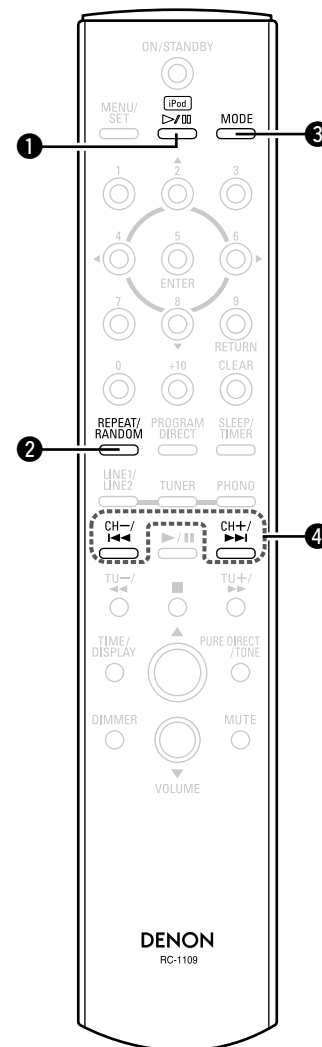
ファンクションが“CD”のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶ 番号ボタン（0～9、+10） ……（19）
❷ リピート/ランダムボタン
（REPEAT/RANDOM） ……（20）
❸ プレイ/ポーズボタン（▶/❚❚） ……（19）
❹ マニュアルサーチボタン
（TU−/◀◀、TU+/▶▶） ……（19）
❺ モードボタン（MODE） ……（21）
❻ クリアーボタン（CLEAR） ……（20）
❼ プログラム/ダイレクトボタン
（PROGRAM/DIRECT） ……（20）
❽ オートマチックサーチボタン
（CH−/❙◀◀、CH+/▶▶❙） ……（19）
❾ ストップボタン（■） ……（19）

ファンクションが“TUNER”のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶ 番号ボタン（0～9、+10）……………………(23)
❷ チャンネル選択ボタン
（CH−/I◀◀、CH+/▶▶I）……………………(23)
❸ 選局ボタン
（TU−/◀◀、TU+/▶▶）……………………(23)
❹ クリアーボタン（CLEAR）……………………(24)
❺ プログラム/ダイレクトボタン
（PROGRAM/DIRECT）……………………(23)

ファンクションが“iPod”のときに操作できるボタン

「すべてのファンクションのときに操作できるボタン」も使用できます。

❶ iPodプレイ/ポーズボタン
（iPod ▶/II）……………………(25)
❷ リピート/ランダムボタン
（REPEAT/RANDOM）……………………(25)
❸ モードボタン（MODE）……………………(25)
❹ オートマチック/マニュアルサーチボタン
（CH−/I◀◀、CH+/▶▶I）……………………(25)

接続のしかた

この取扱説明書では、対応するすべての音声信号方式の接続方法を説明しています。接続する機器に合わせていずれかの接続方法をお選びください。
接続方法によっては、本機の設定が必要なものもあります。詳しくは、各接続項目の説明をご覧ください。

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください
- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 左右のチャンネルを確かめてから、正しくＬとＬ、ＲとＲを接続してください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。ハムや雑音の原因となることがあります。

準備

接続に使用するケーブル

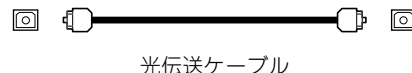
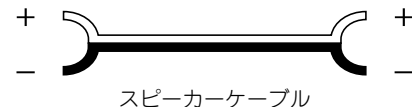
ご使用になる機器に合わせて、ケーブルをご用意ください。

音声ケーブル

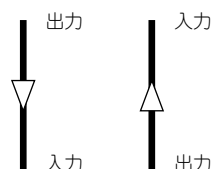
光デジタル接続

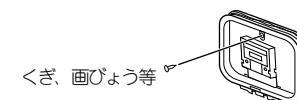
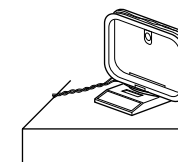
光伝送ケーブル

アナログ接続（ステレオ）

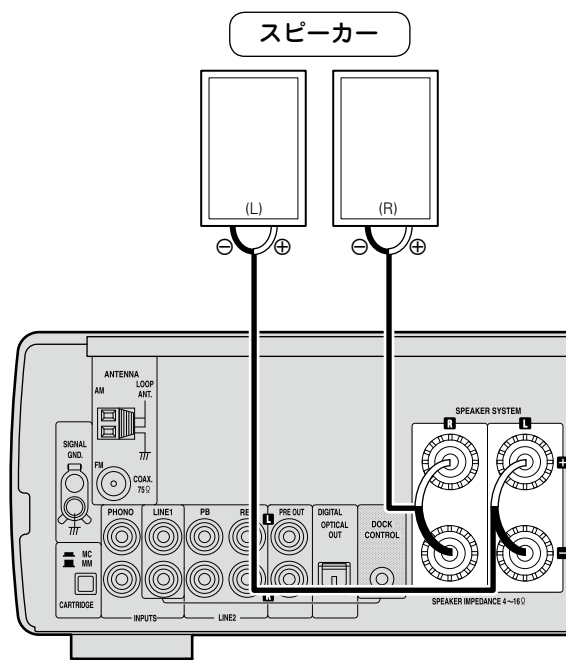
ステレオピンプラグケーブル

スピーカー接続

スピーカーケーブル

信号方向

音声信号：

AM ループアンテナの使いかた

❑ **壁掛け型で使うには**
組み立てずに壁に掛けてください。

❑ **置き型で使うには**
下記操作内容に沿って、組み立ててご使用ください。

AM ループアンテナを組み立てる

1 矢印の方向へ曲げる。

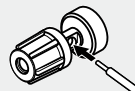
2 穴に差し込む。

スピーカーの接続

スピーカーケーブルを接続する

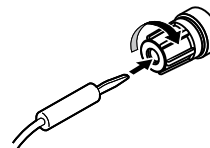
本機とご使用になるスピーカーの左チャンネル（L）、右チャンネル（R）、＋（赤）、－（黒）をよく確認して、同じ極性を接続してください。

1 スピーカーケーブル先端の被覆を10mm程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理（半田付け）をおこなう。

2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。

3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。

4 スピーカー端子を右に回してしめる。

バナナプラグを使用する場合

スピーカー端子を強くしめてから、
バナナプラグを差し込む。

ご注意

- スピーカーは、インピーダンスが4～16 Ωのものをお使いください。指定されたインピーダンス以外のスピーカーを使用した場合に、保護回路が動作することがあります（☞「保護回路について」）。
- スピーカーケーブルは、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、＋側と－側が接触すると、保護回路が動作します（☞「保護回路について」）。
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。

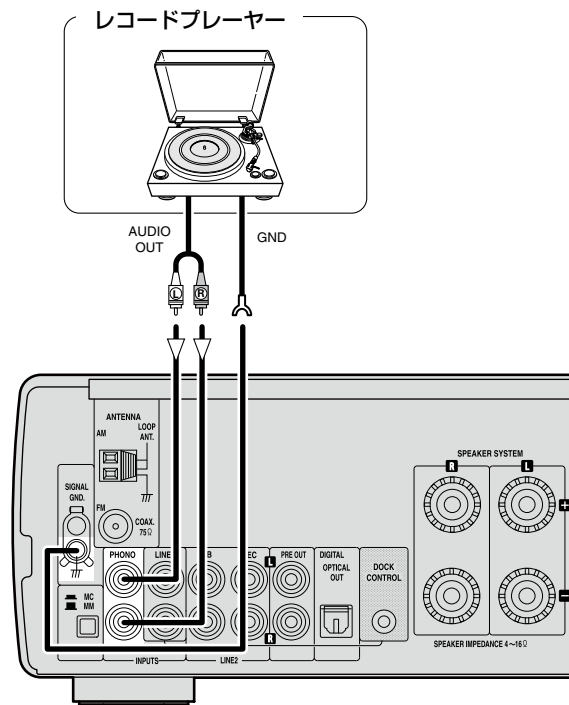
保護回路について

次のときに保護回路が動作します。

- スピーカーケーブルの芯線がリアパネルやネジに接触したり、スピーカーケーブルの＋、－側が接触しているとき
- 本機の周囲の温度が異常に高くなったとき
- 長時間大出力で使用して内部の温度が上昇したとき

保護回路が動作すると、スピーカー出力は遮断され、電源表示が赤色に点滅します。このような場合は、電源コードを抜いてからスピーカーケーブルや入力ケーブルの接続を確認してください。また、本機の温度が極端に上がっている場合は、本機が冷えるのを待ち、周囲の通風状態を良くしてください。その後、もう一度電源コードを入れ直してください。
本機の周囲の通風や接続に問題がないのにも関わらず、保護回路が動作する場合は、本機が故障していることも考えられますので、電源を切った上で、当社の修理相談窓口にご連絡ください。

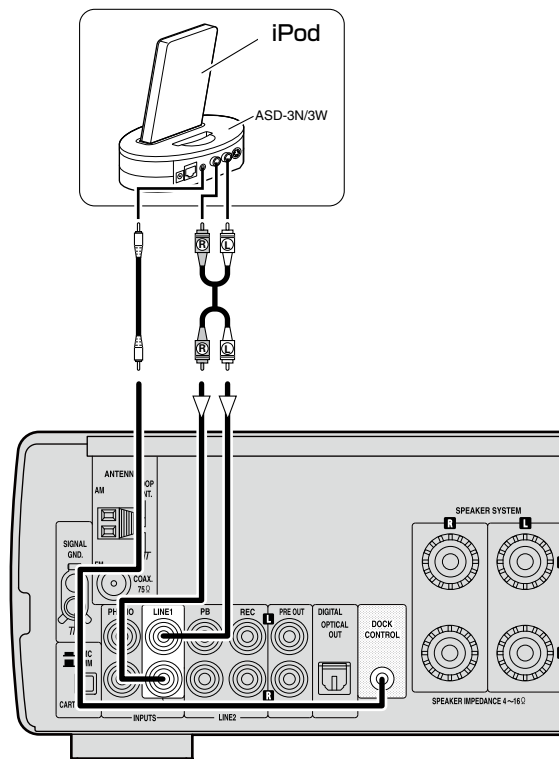
再生機器の接続

レコードプレーヤー

- レコードプレーヤーによっては、アースワイヤーを接続しているときに雑音が発生する場合があります。
  このような場合は、アースワイヤーを外してください。
- 使用するカートリッジに合わせて、カートリッジ切り替えスイッチを“▀MM”または“▃MC”に切り替えてください。

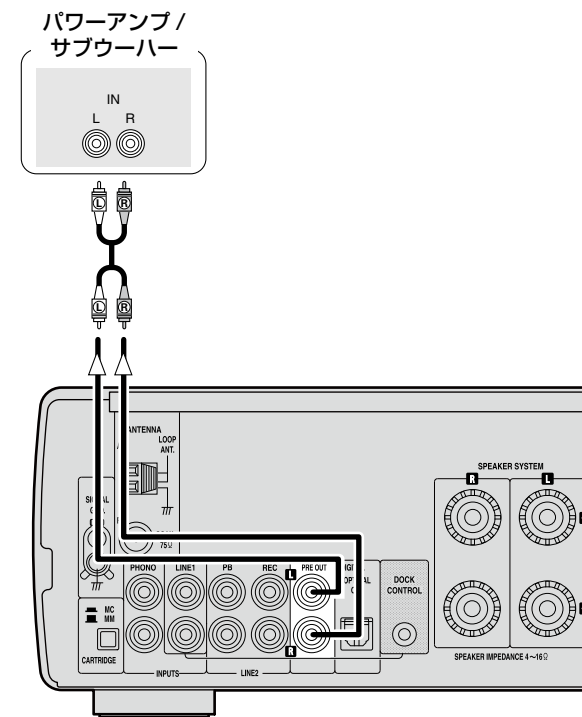
ご注意

本機の SIGNAL GND 端子は、レコードプレーヤーを接続した場合に雑音の低減をはかるもので、安全アースではありません。

iPod®

本機と iPod の接続には、DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-1R または ASD-3N/3W、別売り）をお使いください。

- iPod 用コントロールドックを使用するときは、iPod 用コントロールドック側の設定が必要です。詳しくは、iPod 用コントロールドックの取扱説明書をご覧ください。
- iPod 用コントロールドックを接続すると、ファンクション表示が“LINE1”から“iPod”表示になります。
- iPod を使用する場合は、「iPod® の再生」（☞24 ページ）を参照してください。

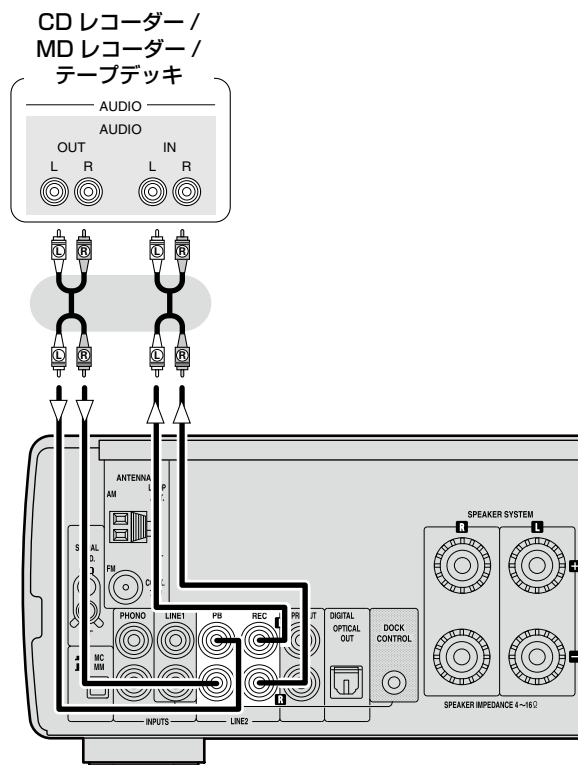
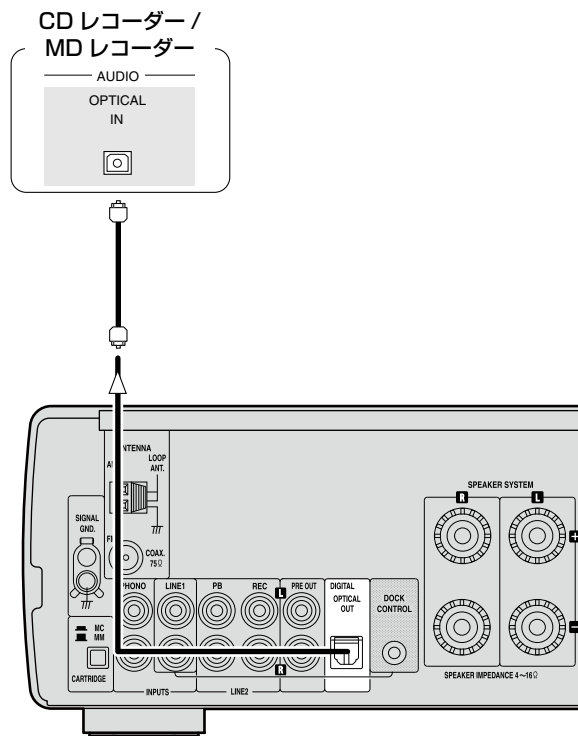
パワーアンプ / サブウーハーの接続

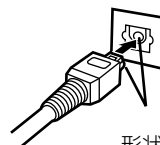
パワーアンプやサブウーハーなどを増設するときに使用します。

ご注意

録音出力（REC）端子やプリアウト端子には、絶対にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

録音機器の接続

CD レコーダー /MD レコーダー / テープデッキ

アナログ接続

デジタル接続

スーパーオーディオ CD はデジタル出力されません。

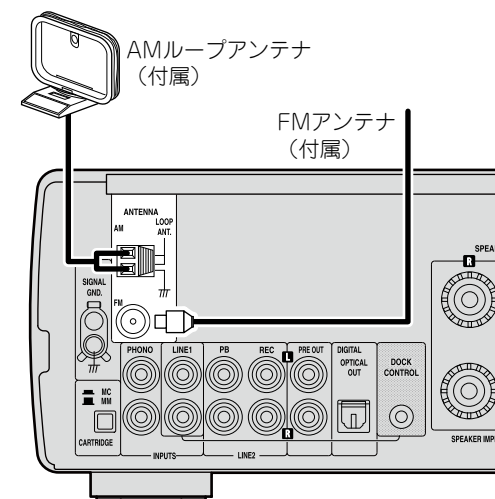
❑ デジタル出力端子（OPTICAL）を光伝送ケーブル（別売り）で接続するとき

保護キャップを外し、形状を合わせて奥までしっかりと差し込んでください。

保護キャップは紛失しないように保管し、端子を使わないときにご使用ください。

その他の機器の接続

アンテナの接続

AM/FM

AM や FM の受信感度は、アンテナの設置場所や設置方向により変わります。最もよく受信できるところに設置してください。

❑ AM ループアンテナの接続をするには

1 レバーを押す。

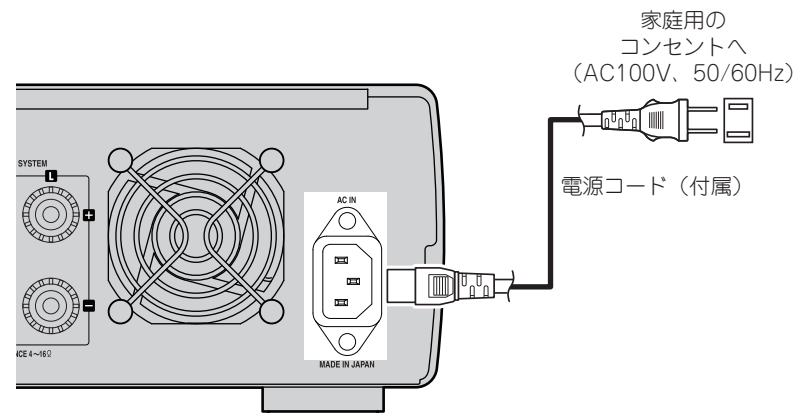
2 アンテナ線を挿入する。

3 レバーを離し、アンテナ線を固定する。

ご注意

- AM ループアンテナ線がリアパネルやネジに接触していないかご確認ください。
- 2 つの FM アンテナを同時に接続しないでください。

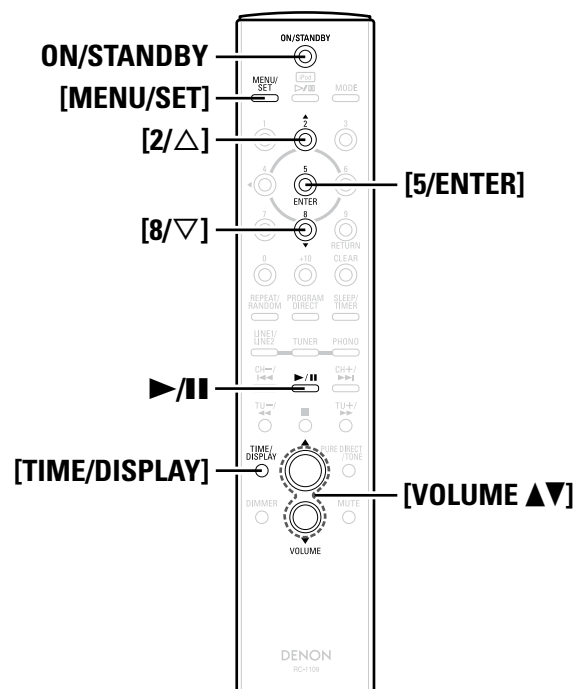
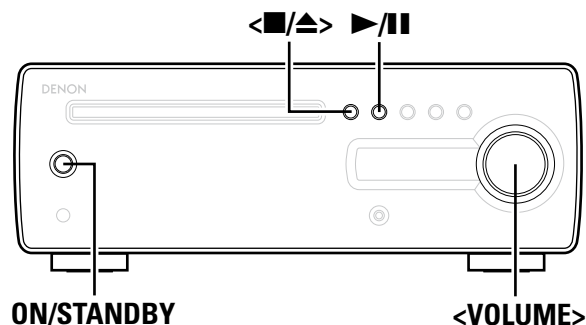
電源コードの接続

すべての接続が終わってから電源コードを接続してください。

ご注意

- 電源プラグはしっかり差し込んでください。不完全な接続は、雑音発生の原因になります。
- 電源プラグを差し込むと、電源表示が約 10 秒間オレンジ色に点滅します。電源表示が消灯して、本機がスタンバイ状態になるまで電源プラグを抜かないでください。
- 付属の電源コード以外は、使用しないでください。
- 本機の AC IN への電源コードの抜き差しは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態でおこなってください。

接続が終わったら

電源を入れる （☞17 ページ）

設定

時刻の合わせかた（24 時間表示）

【例】現在時刻を午前10時15分に設定する

1 **ON/STANDBY ボタンを押して、電源をオンにする。**

2 **[TIME/DISPLAY] ボタンを長押しする。**
時刻を表示します。

3 **[MENU/SET] ボタンを長押しして、時刻設定モードにする。**
“TIME Adj”を２秒間表示します。

TIME Adj

4 **[2/△] または [8/▽] ボタンで“時”を設定する。**

5 **[MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。**
分表示が点滅します。

10:00

6 **[2/△] または [8/▽] ボタンで“分”を設定する。**

10:15

7 **[MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。**
現在時刻が確定し、もとの表示に戻ります。

❏ 電源がオンのときに現在時刻を確認するには

[TIME/DISPLAY] ボタンを長押しする。
もう一度押すと元の表示に戻ります。

❏ 電源がスタンバイの時に現在時刻を確認するには

[TIME/DISPLAY] ボタンを押す。
もう一度押すとスタンバイ時の表示に戻ります。

電源がスタンバイのときに時刻表示をおこなうと、その分の電力を消費します。低待機電力の状態にするには、時計表示を消してください。

ご注意

スタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。

再生のしかた

準備

電源を入れる

ON/STANDBY ボタンを押す。

- 電源が入ります。
  もう一度押すとスタンバイ状態になります。
- 電源を入れると、前回使用していたときのファンクションになります（☞29 ページ「ラストファンクションメモリー」）。

【ラストファンクションが CD のとき】
ディスクが入っていないときは、“NO DISC”を表示します。

電源表示について

スタンバイ……消灯
電源オン……赤色
タイマー設定時……オレンジ色

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、**ON/STANDBY** ボタンを押して電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 必ず再生を止めてから電源を切ってください。

❏ 電源を完全に切るには
電源コードを壁のコンセントから抜く。

※電源コードをコンセントから抜くと、時刻設定が解除されますのでご注意ください。
※長期に渡り電源コードをコンセントから抜いた状態でいると、各ファンクションで設定した設定内容が消えてしまうことがあります。

最優先再生レイヤーを設定する

- ディスクを入れたときに、最優先に再生をおこなうレイヤーを設定できます。
- お買い上げ時の設定は、“スーパーオーディオ CD レイヤー”です。

1 **“NO DISC”が表示されているときに、[MENU SET] ボタンを長押しする。**
現在の最優先レイヤーを表示します。

2 **再度 [MENU SET] ボタンを押して、最優先に再生をおこなうレイヤーを選択する。**

SA-CD ←→ CD

【選択できるモード】

SA-CD	：スーパーオーディオ CD の SA-CD レイヤーモードです。
CD	：CD またはスーパーオーディオ CD の CD レイヤーモードです。

この設定は本機に記憶され、ディスクトレイの開閉や電源の入 / 切でも解除されません。設定を変えるときは、再度設定をやり直してください。

ディスクを入れる

停止中に <■ /⏏> ボタンでディスクトレイを開く。
※ディスクの入れかた（☞6 ページ）

❏ ディスクトレイを閉じるには
もう一度 **<■/⏏>** ボタンを押す。

※**▶/❚❚** ボタンを押しても閉じることができます。

ご注意

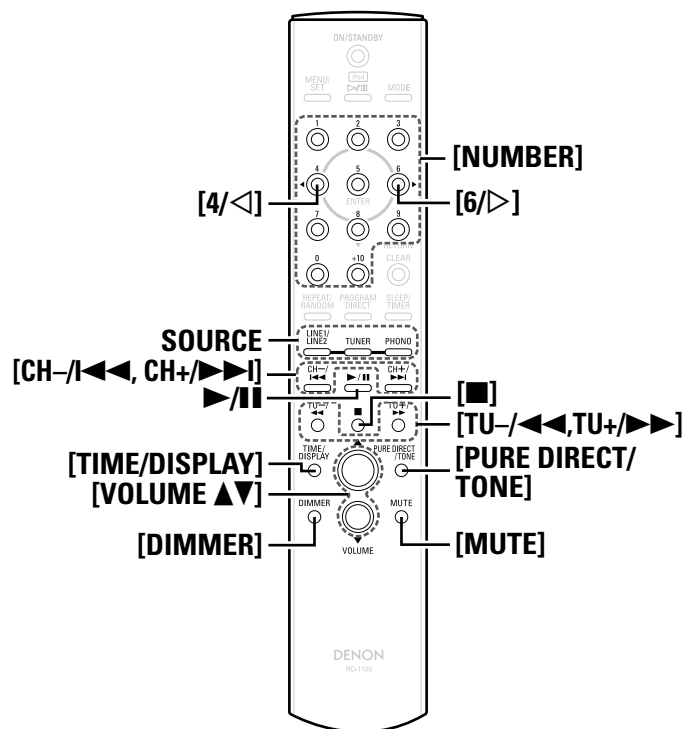
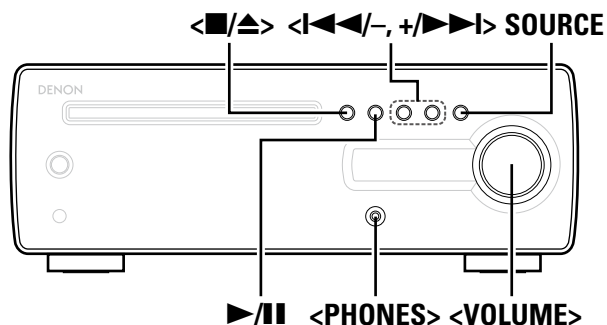
- ディスクトレイを開閉するときは、必ず電源を入れてください。
- 電源を切っているときに、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。

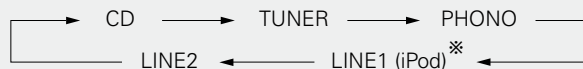
再生中にできる操作

音量を調節する

<VOLUME> つまみを回すか、[VOLUME ▲ ▼] ボタンを押す。
音量を表示します。

【可変できる範囲】 **–90.0dB ～ 0.0dB**

※–90.0dB からさらに音量を下げると、ディスプレイには“---.-dB”と表示します。

入力ソースを切り替える

SOURCE ボタンで選ぶ。

※iPod 用コントロールドックを接続すると、表示が“iPod”表示になります（コントロールドックに iPod が接続されていない場合は、“NO iPod”を表示します）。

ヘッドホンで聴く

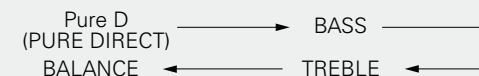
<PHONES> 端子にヘッドホン（別売り）プラグを差し込む。

※自動的にスピーカーから音が出なくなります。

ご注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げ過ぎないように注意してください。

音質を調節する

1 **[PURE DIRECT/TONE] ボタンを押して、調節したいモードを選択する。**

2 **[4/◁, 6/▷] ボタンで音質を調節する。**

※続けて他のモードを調節するには、**[PURE DIRECT/TONE]** ボタンを押します。
※約 3 秒間操作をしないと調節した状態を保持して、通常の表示に戻ります。

【選択できるモード】

Pure D (PURE DIRECT) ：原音にもっとも忠実で、極めて高音質な再生ができます。

【選択できる項目】 **on** **off**

BASS ：低音を調節します。

【可変できる範囲】 **–8dB** ~ **+8dB**

TREBLE ：高音を調節します。

【可変できる範囲】 **–8dB** ~ **+8dB**

BALANCE ：左右の音量バランスを調節します。

【可変できる範囲】 **+L10** ~ **CENTER** ~ **+R10**

左チャンネルを調節したいときは **[4/◁]** ボタンを、右チャンネルを調節したいときは **[6/▷]** ボタンを押して設定します。

お買い上げ時の設定：
- Pure D（PURE DIRECT）…………off
- BASS……………………………………0dB
- TREBLE ………………………………0dB
- BALANCE……………………… CENTER

“Pure D” を “on” に設定すると、デジタル出力がオフになります。また、ディスプレイの表示は消灯します（再生していないときやディスクが入っていないときは、一部の表示部だけを表示します）。

ご注意

- “Pure D” を “on” に設定すると、“BASS”、“TREBLE”、“BALANCE” の設定はできません。
- “Pure D” を “on” に設定すると、**[DIMMER]** ボタンは使用できません。

一時的に音を消す（ミューティング）

[MUTE] ボタンを押す。

“Mute on” を表示します。

解除するときは、もう一度 **[MUTE]** ボタンを押してください。（**<VOLUME>** つまみを回すか **[VOLUME ▲ ▼]** ボタンを押しても解除できます。）

ディスプレイの明るさを切り替える

[DIMMER] ボタンを押す。

※押すたびにディスプレイの明るさが切り替わります。

CD の再生

CD を再生する

▶/❚❚ ボタンを押す。

“▶” 表示が点灯し、再生をはじめます。

- ファンクションが “CD” 以外のときに **▶/❚❚** ボタンを押すと “CD” に切り替わり再生します（☞29 ページ「オートファンクション機能」）。
- **<SOURCE>** ボタンでファンクションを “CD” に切り替えることもできます。

ご注意

ディスクに収録されていないレイヤーは切り替えることができません。

❏ 再生を停止するには

<■/⏏> または **[■]** ボタンを押す。

❏ 再生を一時停止するには

▶/❚❚ ボタンを押す。

“❚❚” 表示が点灯します。

※再生を再開するときは、もう一度 **▶/❚❚** ボタンを押してください。

❏ 早送り / 早戻し（サーチ）をするには

再生中に **[TU –/◀◀, TU +/▶▶]** ボタンを押し続ける。

“▶” 表示が点滅します。

※ボタンから指を離すと、通常の再生に戻ります。

サーチから通常の再生に戻るときに、若干音が途切れることがあります。

❏ 頭出しをするには

再生中に **<I◀◀/–, +/▶▶I>** または **[CH–/I◀◀, CH+/▶▶I]** ボタンを押す。

※押した回数だけ曲を飛び越します。

※ 戻し方向に 1 回押すと、再生中の曲の先頭に戻ります。

❏ 好きな曲を聞くには（リモコンのみ）

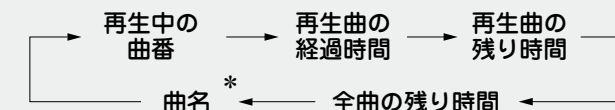
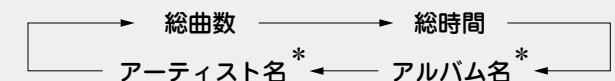
[NUMBER]（**0 ~ 9, +10**）ボタンで再生したい曲の番号を選ぶ。

【例】4 曲目　：**[4]**

【例】12 曲目　：**[+10]**, **[2]**

【例】20 曲目　：**[+10]**, **[+10]**, **[0]**

ディスプレイ表示を切り替える

[TIME/DISPLAY] ボタンを押す。

【停止中】

＊ スーパーオーディオ CD を使用しているときだけ表示します。

※ボタンを押すたびに切り替わります。

テキスト情報が収録されていないスーパーオーディオ CD が入っているときに、“曲名”、“アルバム名”、“アーティスト名” を選択すると、ディスプレイに “NO TEXT” を表示します。

リピート再生やランダム再生をする

[REPEAT/RANDOM] ボタンを押す。

【停止中】

設定が終わったら、►/❚❚ ボタンを押して再生します。

【再生中】

※ボタンを押すたびに切り替わります。

【選択できる項目】

1（1曲リピート）	：1曲のみをくり返して再生します。
ALL（全曲リピート）	：全曲をくり返して再生します。
RND（ランダム）	：自動的に選曲して、ランダムに再生します。
RND 1（ランダム1曲リピート）	：自動的に選曲した1曲をくり返して再生します。
RND ALL（ランダムリピート）	：一通りのランダム再生後、毎回違ったパターンでランダムに再生します。
OFF（表示消灯）	：通常の再生に戻ります。

ご注意

- 再生中にランダム再生の設定および解除はできません。
- ランダム再生中にダイレクト選曲はできません。

❑ ランダム再生やリピート再生を解除するには

停止中に“1”、“ALL”、“RND”、“RND 1”、“RND ALL”表示が消灯するまで **[REPEAT/RANDOM]** ボタンを押す。

※**<■/⏏>** ボタンを押してディスクトレイ開いても、解除することができます。

好きな順に再生する＜プログラム再生＞

最大20曲までプログラムできます。

1 停止中に [PROGRAM/DIRECT] ボタンを押す。
“PROG”を表示します。

2 [NUMBER]（0 ~ 9, +10）ボタンを押して、曲番を選ぶ。

【例】3曲目、12曲目、7曲目の順にプログラムしたい場合：
[PROGRAM/DIRECT], **[3]**, **[+10]**, **[2]**, **[7]** と押す。

3 ►/❚❚ ボタンを押す。
プログラムされた順に再生を始めます。

❑ プログラムした曲順を確認するには

停止中に **<+/►►❙>** または **[CH+/►►❙]** ボタンを押す。
押すたびにプログラムされた順に曲番を表示します。

❑ プログラムした曲を1曲ずつ取り消すには

停止中に **[CLEAR]** ボタンを押す。
押すたびに最後にプログラムされた曲を取り消します。

❑ プログラムした曲をすべて取り消すには

停止中に **[PROGRAM/DIRECT]** ボタンを押す。
“PROG”表示が消灯します。

※**<■/⏏>** ボタンでディスクトレイを開いても取り消すことができます。

プログラム総時間が99分59秒を超える場合は“－－：－－”を表示します。

ご注意

- プログラム再生中にダイレクト選曲はできません。
- MP3やWMAファイルは、プログラム再生ができません。

MP3 や WMA の再生

インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできる様々な音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R/CD-RW に書き込むことにより、本機で再生することができます。

再生できる MP3 や WMA のフォーマットについて

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生することができます。

ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

※他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計：1000 個
最大フォルダ数：255 個

ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3
WMA（Windows Media Audio）

再生可能な MP3/WMA ファイル

ファイルフォーマット	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48 kHz	32 ～ 320 kbps	.MP3
WMA	32/44.1/48 kHz	64 ～ 160 kbps	.WMA

- 本機はフォルダ名とファイル名をタイトルのように表示することができます。英数字、アルファベットおよびアンダースコアを 8 文字まで表示できます。表示できない文字はアスタリスクで表示します。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
  また、書き込みソフトや状態により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。
- JPEG、DivX® はファイルとして扱われますが、再生はできません。

- ファイルには必ず拡張子“.MP3”“.WMA”を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3 や WMA ファイルを再生する

1 **MP3 や WMA 形式の音楽ファイルを書き込んだ CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる（☞6 ページ）。**

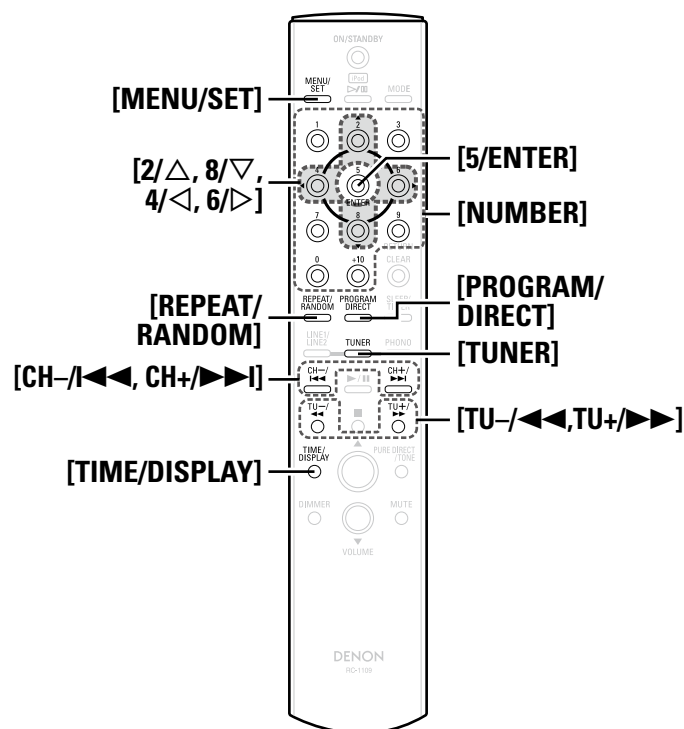
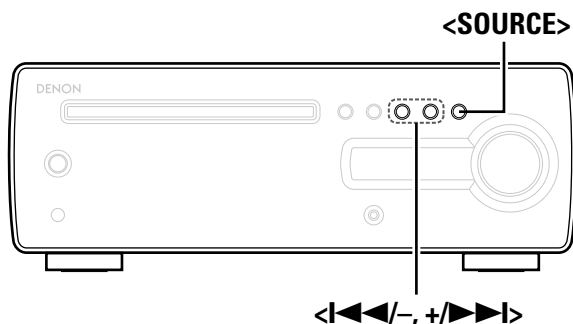
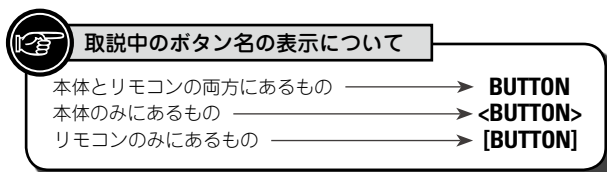
2 **[MODE] ボタンを押して、“フォルダモード”または“ディスクモード”を選ぶ。**

フォルダモード：
“WMA”、“MP3”表示が点滅します。
選ばれたフォルダ内に含まれているファイルを再生します。

ディスクモード：
“WMA”、“MP3”表示が点灯します。
ディスク全体のファイルを再生します。

3 **[2/△, 8/▽] ボタンを押して、再生したいフォルダを選ぶ。**

4 **<I◀◀/–, +/▶▶I>、[4/◁, 6/▷] または [CH–/I◀◀, CH+/▶▶I] ボタンを押して、再生したいファイルを選ぶ。**

5 **▶/❚❚ または [5/ENTER] ボタンを押す。**
再生をはじめます。

❑ 再生中にフォルダやファイルを変えるには

● **フォルダ**

[2/△, 8/▽] ボタンでフォルダを選ぶ。

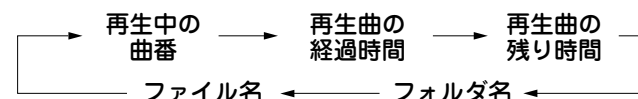
※フォルダを選択すると、選ばれたフォルダの 1 曲目に切り替わります。

● **ファイル**

<I◀◀/–, +/▶▶I> または **[CH–/I◀◀, CH+/▶▶I]** ボタンでファイルを選ぶか、**[4/◁, 6/▷]** ボタンでファイル番号を選ぶ。

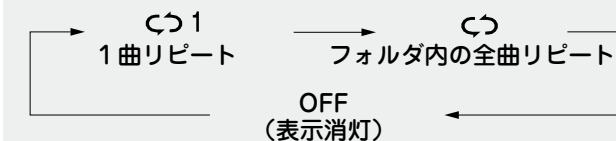
※ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定されます。

❑ 表示を切り替えるには

再生中または一時停止中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。

※停止中は総曲数のみを表示します。

リピート再生やランダム再生をする

フォルダモードのとき

[REPEAT/RANDOM] ボタンを押す。

※ボタンを押すたびに切り替わります。

【選択できる項目】

1（1 曲リピート）	：選んだファイルのみをくり返して再生します。
（フォルダ内の全曲リピート）	：選んだフォルダ内のすべてのファイルをくり返して再生します。
OFF（表示消灯）	：フォルダモード再生に戻ります。

ご注意

- フォルダモードのときはランダム再生ができません。
- MP3/WMAのディスクではプログラム再生はできません。

ディスクモードのとき

CD の設定方法と同じです。「リピート再生やランダム再生をする」（☞20 ページ）をご覧下さい。

ご注意

MP3/WMAのディスクではプログラム再生はできません。

チューナーを聴く

放送局を受信する

あらかじめアンテナを接続してください（☞14 ページ）。

1 **[TUNER] ボタンを押して、受信バンドを選ぶ。**

→ FM AUTO → FM MONO → AM →

【ディスプレイ表示について】
FM AUTO のとき ………………“AUTO”を表示します。
FM MONO のとき ……………“MONO”を表示します。
AM のとき ………………………受信モードを表示しません。

2 **[TU –/◀◀, TU +/▶▶] ボタンを押して、受信周波数を選ぶ。**
受信すると、“TUNED”表示が点灯します。

- ファンクションが“TUNER”以外のときに **[TUNER]** ボタンを押すと“TUNER”に切り替わります（☞29 ページ「オートファンクション機能」）。
- **<SOURCE>** ボタンでファンクションを“TUNER”に切り替えることもできます。

❑ オートチューニングするには

<I◀◀/–, +/▶▶I> または **[TU –/◀◀, TU +/▶▶]** ボタンを長押しすると、自動的に放送局をサーチして受信します。

※ただし、電波が弱い放送局は受信できません。

❑ オートチューニングを停止するには

<I◀◀/–, +/▶▶I> または **[TU –/◀◀, TU +/▶▶]** ボタンを押す。

❑ マニュアルチューニングするには

[TU –/◀◀, TU +/▶▶] ボタンを押すたびに、受信周波数が変化します。

AM 放送受信中に近くでテレビなどを使用すると、“ピー”という雑音が入る場合があります。このような場合は、本機をテレビなどからできるだけ離して設置してください。

FM放送の受信状態の表示について

受信バンドのモードが“FM AUTO”のときに、ステレオ放送を受信すると、“ST”表示が点灯します。

電波が弱く、安定したステレオ受信ができないときは、受信バンドのモードを“FM MONO”にして、モノラル受信にしてください。

FM 放送局を自動的にプリセットする（オートプリセット）

最大 40 局プリセットできます。
AM 放送局はオートプリセットできません。

1 **[TUNER] ボタンを押して、“FM AUTO”または“FM MONO”を選ぶ。**

2 **[MENU/SET] ボタンを長押しする。**
“A. PRESET”が点滅します。

3 **再度 [MENU/SET] ボタンを押す。**
放送局を自動的にプリセットします。

- アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。
- オートプリセットをはじめると、途中で止めることができません（終了するまで 30 秒程かかります）。

FM/AM 放送局をマニュアルでプリセットする

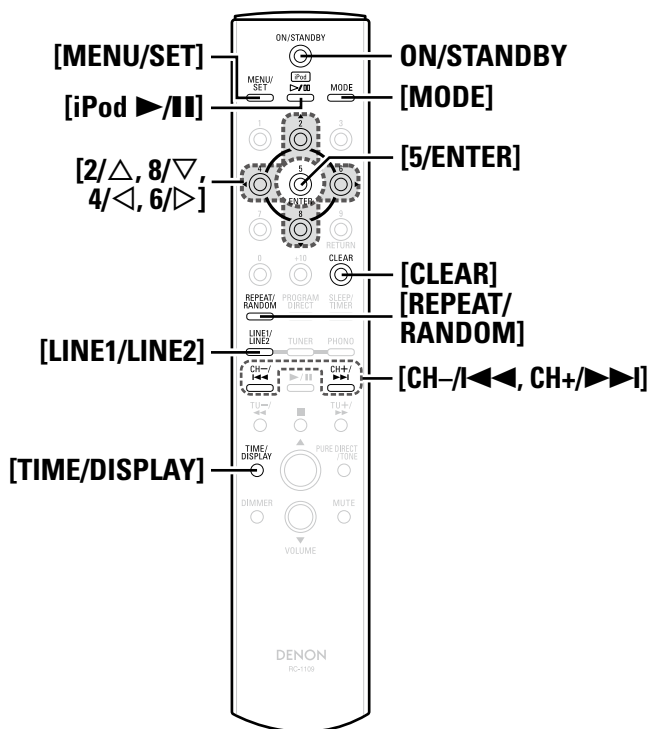
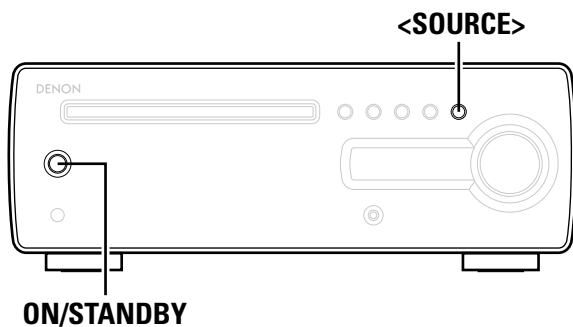
FM/AM 合わせて最大 40 局までプリセットできます。

1 **放送局を受信する。**

2 **[PROGRAM/DIRECT] ボタンを押す。**
未登録プリセットの最小番号表示“P- -”が点滅します。

3 **[NUMBER]（0 ~ 9, +10） または [CH–/I◀◀, CH+/▶▶I] ボタンでプリセットする番号を選び、[PROGRAM/DIRECT] ボタンを押す。**
受信周波数と受信モードをプリセットします。

プリセットした放送局を聴く

[NUMBER]（0 ~ 9, +10） または [CH–/I◀◀, CH+/▶▶I] ボタンでプリセット番号を選ぶ。

受信した放送局に名前を付ける

最大 8 文字まで入力できます。

1 **[MENU/SET] ボタンを 3 回押す。**

2 **[2/△] または [8/▽] ボタンを押す。**
名前入力モードになります。

3 **[2/△, 8/▽] ボタンで文字を選び、[6/▷] ボタンで確定する。**

※入力できる文字

A ～ Z、0 ～ 9、^ ' ( ) * + , - . / = (スペース)

※[4/◁, 6/▷] ボタンを押すとカーソルが移動できます。
※文字を削除するときは、[CLEAR] ボタンを押してください。

4 **名前の入力が終わったら、[5/ENTER] ボタンを押して、入力を確定する。**

入力した放送局にプリセット番号が登録されていない場合、プリセット番号の入力待ちになります。**[CH–/I◄◄, CH+/►►I]** ボタンでプリセット番号を設定してください。

❑ 放送局名を変更するには

① 変更したいプリセット名を呼び出し、**[MENU/SET]** ボタンを 3 回押す。
② 修正したい文字を **[4/◁, 6/▷]** ボタンで選び、**[CLEAR]** ボタンを押す。
③「受信した放送局に名前を付ける」の操作 3、4 をおこなう。

iPod® の再生

iPod の音楽を聴くことができます。さらに、本機およびリモコンで iPod を操作することができます。

iPod は米国およびその他の国々で登録された Apple, Inc. の商標または登録商標です。

※ iPod は、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

準備

1 **DENON 製 iPod 用コントロールドックに、iPod をセットする。**
（☞iPod 用コントロールドックの取扱説明書）

2 **<SOURCE> または [LINE1/LINE2] ボタンを押して、"iPod" を選ぶ。**

3 **[MODE] ボタンを押して、表示モードを選ぶ。**
押すたびに、モードが切り替わります。

【選択できるモード】		ブラウズモード	リモートモード
表示するディスプレイ		本機のディスプレイ	iPod のディスプレイ
再生できるファイル	音声ファイル	○	○
	映像ファイル	×	○ *
操作できるボタン	本機のリモコン	○	○
	iPod	×	○

＊：ASD-1R と iPod の組み合わせによっては、映像が出力されない場合があります。

オーディオを聴く

1 **[2/△, 8/▽] ボタンでメニューを選び、[5/ENTER] ボタンで再生したい音楽ファイルを選ぶ。**

2 **[iPod ▶/❚❚] ボタンを押す。**
再生をはじめます。

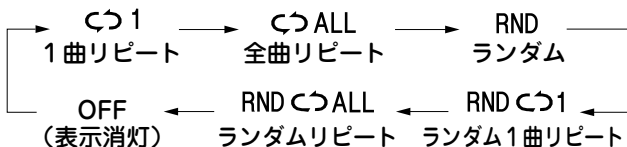
- ファンクションが "iPod" 以外のときに **[iPod ▶/❚❚]** ボタンを押すと "iPod" に切り替わり再生します（☞29 ページ「オートファンクション機能」）。
- **<SOURCE>** または **[LINE1/LINE2]** ボタンでファンクションを "iPod" に切り替えることもできます。

❏ 一時停止をするには
再生中に **[iPod ▶/❚❚]** ボタンを押す。
もう一度押すと、再生を再開します。

❏ 早送りや早戻しをするには
再生中に **[CH–/I◀◀]** または **[CH+/▶▶I]** ボタンを長押しする。

❏ 頭出しをするには
再生中に **[CH–/I◀◀]** または **[CH+/▶▶I]** ボタンを押す。

❏ リピート / ランダム再生をするには（ブラウズモード時のみ）
[REPEAT/RANDOM] ボタンを押す。

↻1 1曲リピート → ↻ALL 全曲リピート → RND ランダム → RND ↻1 ランダム1曲リピート → RND ↻ALL ランダムリピート → OFF（表示消灯） → ↻1 1曲リピート

❏ ブラウズモードとリモートモードを切り替えるには
[MODE] ボタンを押す。

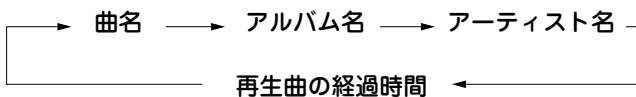
ブラウズモード
IPod の情報を、本機のディスプレイに表示させて操作をおこなうモードです。
このモードでは、iPod を直接操作することや、スライドショー機能の操作はおこなえません。スライドショーをおこなうときはリモートモードにしてください。

リモートモード
iPod に表示される画面を見ながら iPod を直接操作するモードです。

接続や操作については iPod 用コントロールドックの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意
- 万一、iPod のデータが消失または損傷しても、弊社は一切責任を負いません。
- iPod のソフトウェアのバージョンによっては、本機で操作できない場合があります。
- 本機は、日本語表示に対応しておりません。

本機のディスプレイ表示を切り替えるには
再生中に **[TIME/DISPLAY]** ボタンを押す。
押すたびに切り替わります。

曲名 → アルバム名 → アーティスト名 → 再生曲の経過時間 → 曲名

iPod を取り外すには

1 **ON/STANDBY ボタンを押して、本機の電源をスタンバイ状態にする。**

2 **iPod用コントロールドックから iPod を取り外す。**

録音をする

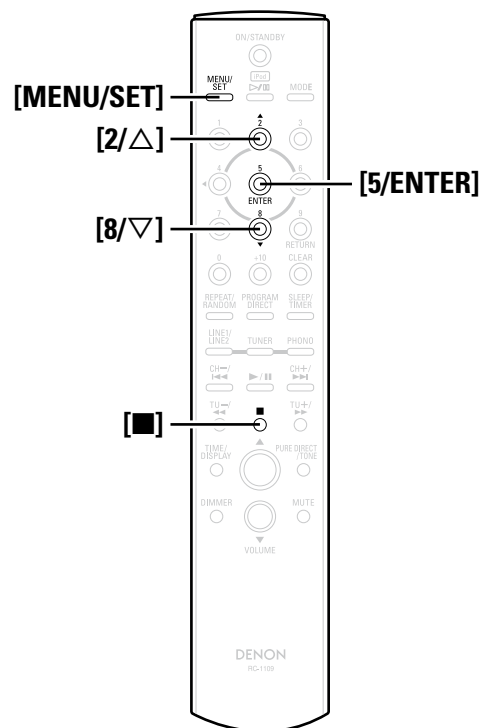
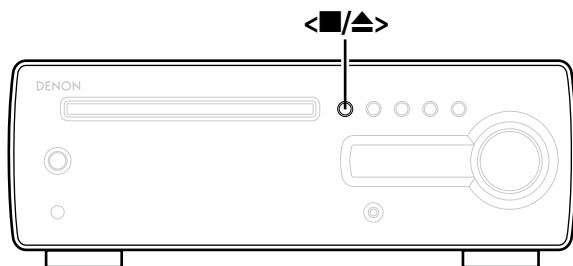
外部機器での録音
あらかじめ録音したい機器を本機に接続してください（☞14 ページ）。

1 **<SOURCE> ボタンを押して、録音したい入力ソースを選ぶ。**

2 **録音機器を録音状態にする。**
※操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

3 **再生機器の再生をはじめる。**
※操作のしかたは、機器の取扱説明書をご覧ください。

- LINE2 の入力信号は録音出力端子（REC）に出力されません。
- 音量や音質を調節しても、録音状態には影響がありません。

タイマー設定

タイマー再生

エブリディタイマー、ワンスタイマーおよびスリープタイマーのタイマー設定ができます。

タイマーの優先順位

タイマーの設定時刻の範囲が重なったときの優先順位は次の通りです。

1 スリープタイマー
2 ワンスタイマー
3 エブリディタイマー

現在時刻が未設定のときにタイマー設定モードに入ると、時刻設定モードになります。

タイマーを設定する

●エブリディタイマー再生

毎日設定した時刻に、再生スタート（電源オン）と終了（電源スタンバイ）をおこないます。

●ワンスタイマー再生

1 回のみ、設定した時刻に再生スタート（電源オン）と終了（電源スタンバイ）をおこないます。

1 [MENU/SET] ボタンを押す。

“TIMER”を表示します。

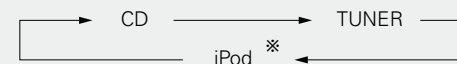
2 [2/△, 8/▽] ボタンでタイマー再生モードを選ぶ。

ONCE ↔ EVERYDAY

EVERYDAY

3 [MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。

タイマー再生モードを確定し、“FUNC”を表示します。

4 [2/△, 8/▽] ボタンで再生するファンクションを選ぶ。

※“iPod”は iPod 用コントロールドックを接続したときだけ表示します。

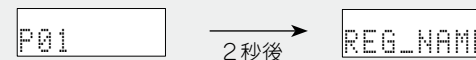
CD

5 [MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。

再生するファンクションが確定されます。

※チューナー以外のファンクションのときには“ON”が表示され、操作 7 の設定表示になります。

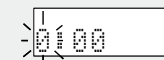
【ファンクションで“TUNER”を選んだときのみ】

6-① [2/△, 8/▽] ボタンでプリセット番号を選ぶ。

※選択したプリセット番号に名前が登録されていない場合は、プリセット番号が表示されたあとに周波数を表示します。

-② [MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。

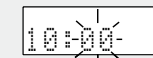
選択したプリセット番号の放送局が確定し、“ON”が表示されます。

7 [2/△, 8/▽] ボタンでタイマー再生開始時刻の“時”を設定する。

0:00

8 [MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。

タイマー再生開始時刻の“時”を確定します。

9 [2/△, 8/▽] ボタンでタイマー再生開始時刻の“分”を設定する。

10:00

10 [MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。

タイマー再生開始時刻の“分”を確定し、“OFF”を表示します。

11 **[2/△, 8/▽] ボタンでタイマー再生終了時刻の“時”を設定する。**

12 **[MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。**
タイマー再生終了時刻の“時”を確定します。

13 **[2/△, 8/▽] ボタンでタイマー再生終了時刻の“分”を設定する。**

14 **[MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。**
タイマー再生終了時刻の“分”を確定します。

15 **[2/△, 8/▽] ボタンでタイマー再生のオンを設定する。**

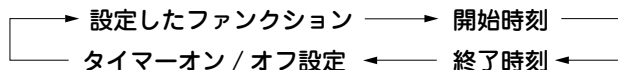
表示	ワンスタイマー	エブリディタイマー
1_ _ / E_ _	オフ	オフ
1on / Eon	オン	オン
1_ _ / Eon	オフ	オン
1on / E_ _	オン	オフ

16 **[MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。**
タイマー設定を確定します。

17 **電源をスタンバイにする。**
タイマー再生スタンバイモードになり、電源表示がオレンジ色に点灯します。

❑ タイマー設定の内容を確認するには

① **[MENU/SET]** ボタンを押す。
“TIMER”を表示します。
② **[2/△, 8/▽]** ボタンを押す。
“EVERYDAY”または“ONCE”を表示します。
③ **[MENU/SET]** ボタンを押す。
ボタンを押すたび次の表示に切り替わります。

設定したファンクション → 開始時刻 → 終了時刻 → タイマーオン / オフ設定 → 設定したファンクション

❑ タイマー設定の内容を変更するには

「タイマーを設定する」（☞26 ページ）の操作をやり直してください。

❑ タイマー設定中に設定を変更するには

<■/⏏> または **[■]** ボタンを押す。
「タイマーを設定する」（☞26 ページ）の操作 2 に戻ります。再度操作をおこなってください。

ご注意

設定中に **<■/⏏>** または **[■]** ボタンで変更ができるのは操作 14 までです。

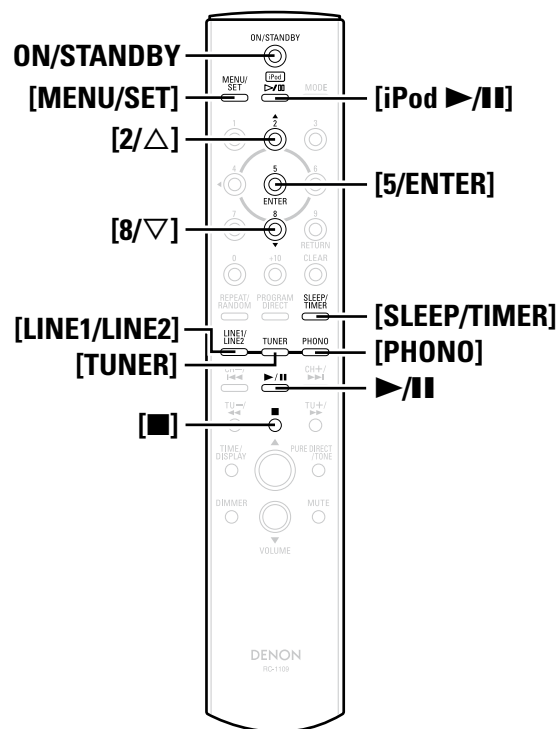
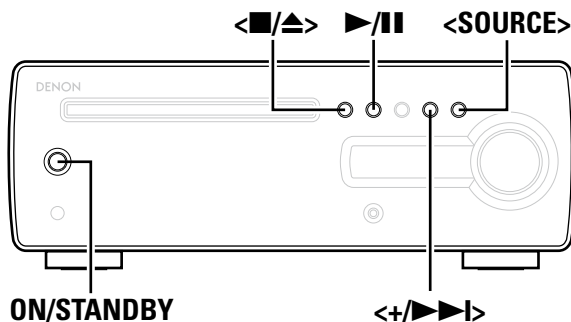
❑ タイマー設定の内容を消去するには

① **[MENU/SET]** ボタンを押す。
“TIMER”を表示します。
② **[2/△, 8/▽]** ボタンを押す。
“EVERYDAY”または“ONCE”を表示します。
③“EVERYDAY”または“ONCE”を表示中に、**<■/⏏>** または **[■]** ボタンを約 2 秒以上押す。

❑ 停電になったとき

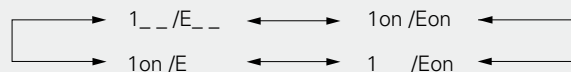
- 電源を入れて、もう一度現在時刻を合わせてください。（☞16 ページ）
- タイマーの予約内容が消去されます。もう一度タイマー予約をおこなってください。
- チューナーのプリセット内容が消去されてしまう場合があります。そのときは、プリセットをし直してください。

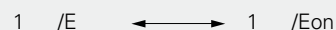
❑ DENON 製 iPod 用コントロールドック（ASD-3N または ASD-3W）でタイマー設定をするとき

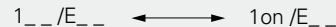
再生したい曲を一時停止状態にして、DENON 製 iPod 用コントロールドックの電源を常にオンにしておいてください。

タイマーのオン / オフを設定する

「タイマーを設定する」(☞26 ページ)で設定をしたあと、タイマー動作をおこないたいタイマーのオン / オフを設定できます。

1 **[MENU/SET] ボタンを続けて 2 回押すか、[SLEEP/TIMER] ボタンを長押しする。**
現在の設定内容を表示します。

2 **[2/△, 8/▽] ボタンでタイマー動作をしたいタイマーを選択する。**

※「タイマーを設定する」(☞26 ページ) でエブリディタイマーのみ予約したことがある場合は **[2/△, 8/▽]** ボタンを押すと、以下のように切り替わります。

1_ _ /E_ _ ←→ 1_ _ /Eon

※「タイマーを設定する」(☞26 ページ) でワンスタイマーのみ予約したことがある場合は **[2/△, 8/▽]** ボタンを押すと、以下のように切り替わります。

1_ _ /E_ _ ←→ 1on /E_ _

3 **[MENU/SET] または [5/ENTER] ボタンを押す。**
タイマー設定を確定します。

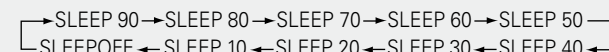
4 **ON/STANDBY ボタンを押して、本機をスタンバイ状態にする。**
電源表示がオレンジ色に点灯します。

スリープタイマーを設定する

設定した時間後に、自動的に電源をスタンバイ状態にできます。10 分間隔で最大 90 分まで設定できます。

1 **お好みのファンクションを選び、再生する。**

2 **[SLEEP/TIMER] ボタンを押して、設定時間を選ぶ。**

→SLEEP 90→SLEEP 80→SLEEP 70→SLEEP 60→SLEEP 50
SLEEPOFF←SLEEP 10←SLEEP 20←SLEEP 30←SLEEP 40←

※約 5 秒後、設定を確定し、スリープタイマー設定前の状態に戻ります。

❑ スリープタイマーを解除するには

「スリープタイマーを設定する」の操作 2 で "SLEEPOFF" を表示するまで **[SLEEP/TIMER]** ボタンを押すか、**ON/STANDBY** ボタンを押す。

❑ スリープタイマー開始までの残り時間を確認するには

[SLEEP/TIMER] ボタンを押す。

その他の機能

便利な機能

オートパワーオン

電源がスタンバイのとき、**ON/STANDBY** ボタン以外の次のボタンで電源がオンになり、次の動作をおこないます。

- **<■/▲>** ボタン……………ディスクトレイが開きます。
- 各ファンクションの **▶/❚❚** ボタン
  ……………………………………再生をはじめます。
- **[TUNER]** ボタン…………チューナーの再生をはじめます。
- **[■]** ボタン…………………ファンクションを“CD”に切り替えて、電源をオンにします。
- **[PHONO]** ボタン…………ファンクションを“PHONO”に切り替えて、電源をオンにします。
- **[LINE1/LINE2]** ボタン…ファンクションを最後に設定した“LINE”に切り替えて、電源をオンにします。

ご注意

iPod が再生できる状態のときに、**[iPod ▶/❚❚]** ボタンを押すと、iPod の再生を始めます。

オートファンクション機能

次のボタンを押すとファンクションをそれぞれのファンクションに切り替えてから、それぞれのソースの再生をはじめます。

- **▶/❚❚** ボタン……………ファンクションが“CD”に切り替わり、CD を再生します。
- **[■]** ボタン………………ファンクションが“CD”に切り替わり、停止状態になります。
- **[iPod ▶/❚❚]** ボタン‥ファンクションが“iPod”に切り替わり、iPod を再生します。
- **[TUNER]** ボタン………ファンクションが“TUNER”に切り替わり、最後に設定したバンドを受信します。

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。
再び電源を入れると、スタンバイにする直前の設定になります。

マイコンの初期化

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。
マイコンを初期化すると、各種ボタンの設定内容がすべてお買い上げ時の設定になります。

1 **電源コードを抜く。**

2 **<+/▶▶❙> と <SOURCE> ボタンを同時に押しながら、コンセントに電源プラグを入れる。**

約 15 秒後に“RESET”を表示し、マイコンを初期化します。

操作 3 で“RESET”を表示しない場合は、もう一度操作 1 からやり直してください。

故障かな？と思ったら

❑ 各接続は正しいですか
❑ 取扱説明書に従って正しく操作していますか
❑ スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正常に動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。
なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
もし、お買い上げの販売店でお分かりにならない場合は、弊社のお客様相談窓口またはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

【共通】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
本機が正常に動作しない。	●外部からのノイズや妨害によって本機が誤動作している。	●マイコンを初期化してください。	29
電源を入れても電源表示が点灯せず、音が出ない。	●電源コードの差し込みが不完全である。	●本機のリアパネルおよび電源コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	15
電源表示は点灯するが音が出ない。	●スピーカーケーブル接続が不完全である。	●しっかり接続してください。	12
	●ファンクション（入力）が不適当である。	●正しいファンクション（入力）に切り替えてください。	18
	●音量調節つまみが絞ってある。	●適当な位置まで回してください。	17
片側だけ音が出ない。	●スピーカーケーブル接続が不完全である。	●しっかり接続してください。	12
	●入力ケーブルの接続が不完全である。	●しっかり接続してください。	13、14
	●左右のバランスがずれている。	●左右のバランスを調節してください。	18
ステレオのときに、各楽器の位置が入れ替わっている。	●スピーカーケーブルまたは入力ケーブルの接続が逆になっている。	●接続を確かめてください。	12 〜 14

【リモコン】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
リモコンを操作しても、正常に動作しない。	●乾電池が消耗している。	●新しい乾電池と交換してください。	7
	●本体から離れすぎているか、角度が良くない。	●リモコンは、本機から約 7 メートルおよび 30° 以内の範囲で操作してください。	7
	●本機とリモコンの間に障害物がある。	●障害物を取り除いてください。	7
	●乾電池の ⊕ と ⊖ が正しくセットされていない。	●正しい極性でセットしてください。	7
	●本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバータ式蛍光灯の光など）が当たっている。	●受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	7

【CD】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
ディスクトレイが開閉しない。	●電源が入っていない	●電源を入れてください。	17
ディスクを入れても“NO DISC”表示になる。	●ディスクが正しく入っていない。	●ディスクを入れ直してください。	6
ディスクを入れても“00：00”表示になる。	●CD およびスーパーオーディオ CD 以外のディスクが入っている。	●CD またはスーパーオーディオ CD を入れてください。	6
►/❚❚ ボタンを押しても再生しない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6、7
デジタル出力されない。	●スーパーオーディオ CD はデジタル出力されない。	●スーパーオーディオ CD はアナログ音声出力をご使用ください。	14
	●ピュアダイレクトモードが“ON”になっている。	●ピュアダイレクトモードを“OFF”にしてください。	18
ディスクの指定場所が正しく再生できない。	●ディスクが汚れたり、傷が付いたりしている。	●ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	6、7
プログラム再生ができない。	●プログラム方法が違っている。	●正しくプログラムしてください。	20

症 状	原 因	対 策	関連ページ
CD-R/CD-RW が再生できない。	●ファイナライズされていない。 ●記録状態が悪い。またはディスク自体の品質が悪い。	●ファイナライズをしてから、再生してください。 ●正しく記録されたディスクをご使用ください。	6 —
MP3 や WMA 形式で記録されたファイルが再生できない。	●「著作権保護された WMA ファイル」または「正しく再生できないファイル」を選んでいる。	●⏮ または ⏭ ボタンで別のファイルを選んでください。	21

【チューナー】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
FM 放送に“ザー”という雑音が入る。	●アンテナケーブルが正しく接続されていない。 ●マイコンを搭載した電子機器などから雑音が入っている。または、受信している放送局の電波が弱い。	●アンテナケーブルを正しく接続してください。 ●機器の配置や接続ケーブル、アンテナなどの位置や向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	14 — —
AM 放送に“シー”や“ザー”という雑音が入る。	●テレビなどから雑音が入っている。または、放送局の干渉音が聞こえる。	●テレビを消してください。 ●AM ループアンテナの位置や向きを変えてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	— — —
AM 放送に“ブーン”という雑音が入る。	●電源コードを伝わってくる電波によって妨害を受けている。	●電源プラグの方向を逆に差し込んでみてください。 ●屋外アンテナを接続してください。	— —

【レコード】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
レコード再生のときに、音量を大きくしていくと、“ワーン”という音が出る。	●プレーヤーとスピーカーの距離が近すぎる。 ●床が柔らかく、振動しやすい。	●できるだけ離してご使用ください。 ●床を伝わってくるスピーカーの振動をクッションで吸収するようにしてご使用ください。	— —

【iPod】

症 状	原 因	対 策	関連ページ
iPod が再生できない。	●入力ソースと合っていない。 ●ケーブルが正しく接続されていない。 ●iPod 用コントロールドックの AC アダプターがコンセントに挿されていない。	●入力ソースを切り替えてください。 ●接続をやり直してください。 ●iPod 用コントロールドックは、AC アダプターを挿していないと本機と通信することができません。	24 13 —

保証と修理について

保証書

この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から１年間です。

❏ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は、有料修理になりますので、ご注意ください。

❏ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。
有料修理の料金については『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

修理を依頼されるとき

❏ 修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

❏ 修理を依頼されるとき

- 添付の『製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内』に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書または製品背面（または底面や側面）に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後８年です。

お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

主な仕様

❑レシーバー部

定格出力：	両チャンネル駆動 37.5W ＋ 37.5W（負荷８Ω、１kHz、T.H.D 0.7%） 75W ＋ 75W　（負荷４Ω、１kHz、T.H.D 0.7%）
全高調波ひずみ率：	0.05%（定格出力 － 3dB 時、負荷８Ω、１kHz）
出力端子：	スピーカー：負荷４～ 16 Ω、ヘッドホン / ステレオヘッドホン適合
イコライザーアンプ出力（REC OUT 端子）：	定格出力：150mV
入力感度 / 入力インピーダンス：	PHONO（MM）　：2.5mV/47k Ω PHONO（MC）　：0.2mV/100 Ω CD、LINE1、LINE2 ：130mV/47k Ω
RIAA 偏差：	PHONO： 20Hz ～ 20kHz ± 0.5dB（MM）
受信周波数帯域：	FM：76MHz ～ 90MHz　AM：522kHz ～ 1629kHz
受信感度：	FM：1.5µV/75 Ω　AM：20µV
FM ステレオ分離度：	35dB（1kHz）
FM SN 比：	モノラル：74dB　ステレオ：70dB
FM 高調波ひずみ率：	モノラル：0.3%　ステレオ：0.4%
SN 比：	PHONO（MM）：84dB（入力端子短絡、入力信号 5mV 時） PHONO（MC）：70dB（入力端子短絡、入力信号 0.5mV 時）
（A ネットワーク）：	LINE1、LINE2：95dB（入力端子短絡時）
トーンコントロール：	BASS（低域 ）　：100Hz ± 8dB TREBLE（高域 ）：10kHz ± 8dB
周波数特性：	入力 LINE1、 ピュアダイレクト ON：10Hz ～ 40kHz（＋ 0.5dB、－ 3dB）

❑時計 / タイマー部

時計方式：	電源周波数同期方式（月差 ± 60 秒以内）
タイマー：	エブリディタイマー / ワンスタイマー：各１系統 スリープタイマー：最大 90 分

※仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

※本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

※本機は国内仕様です。
必ず AC100V のコンセントに電源プラグを差し込んでご使用ください。AC100V 以外の電源には絶対に接続しないでください。

❑CD 部

	【スーパーオーディオ CD】	【CD】
●アナログ出力		
信号方式：	1 ビット DSD	16 ビット・リニア PCM
サンプリング周波数：	2.822MHz	44.1kHz
使用ディスク：	スーパーオーディオ CD	コンパクトディスク
●デジタル出力		
OPTICAL:	－	－ 15 ～－ 21dBm
発光波長：	－	660nm

❑総合

電源：	AC 100V　50/60Hz
消費電力：	95W（電気用品安全法による） 0.3W（低消費電力モード時 *）
最大外形寸法：	300（幅）× 110（高さ）× 341（奥行き）mm （フット・つまみ・端子を含む）
質量：	8.0kg

❑リモコン（RC-1109）

リモコン方式：	赤外線パルス式
乾電池：	DC3V 単４形乾電池２本使用
最大外形寸法：	44（幅）× 233（高さ）× 22（奥行き）mm
質量：	165g（乾電池を含む）

*：スタンバイの状態が約 30 分間つづくと、本機は自動的に低消費電力モードになります。

DENON

デノンお客様相談センター

☎　044-670-5555

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

受付時間　9：30 ～ 12：00、12：45 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

〒210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

故障・修理・サービス部品についてのお問い合わせ先（サービスセンター）については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

http://denon.jp/jp/support/pages/servicecenter.aspx

後日のために記入しておいてください。

購入店名：	電話（　　-　　-　　）
ご購入年月日：　　年　　月　　日	

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

Printed in Japan　5411 10056 104DA